

福島県PTA連合会会報  
第33号\_H04.02.27

福連P  
ふん  
ま

5-1内館53-1  
会連合  
部年  
屋少  
田P  
字PTA  
岩青  
黒島  
市福  
福島  
福島  
電話  
発行人  
印

5982  
2  
朋  
和  
井  
櫻  
井  
和  
朋  
所  
刷  
印  
所  
電話  
57-1071



県連P会長 櫻井 和朋

## この一年を省みて

平成三年度は、県連P創立四十周年の記念すべき年でした。県連Pは、記念事業として、記念誌「40年の歩み」を発刊し、歴史をふりかえりました。そして、先人の築き上げた良き伝統に学び、今後のPTA活動の一層の充実発展を誓いました。

このような大きな節目の年に、会長として滞りなく任務を遂行出来たのも、県P三役、理事、県下会員の皆様の暖かいご支援、事務局の方々の献身的なご協力の賜と深く感謝しております。

さて、今年歩みを見てもみますと、第一に、県PTA安全互助会の保険内容の改定という、かねてからの懸案となっていた問題がありました。出来るだけ時代にマッチした内容にしようと、種々検討し、現行の制度に決定させていただきました。掛金の高額化による加入率の減少が懸念されましたが、皆様のご理解により、さしたる減少もなく、順調に推移したのは幸いでした。

第二に、学校週五日制が、次第に具体的な日程を伴って話題になって来りました。

八月の日P高知大会、九月の東北P鶴岡大会、ともに特別分科会で、五日制が取り上げられまし

た。平成四年九月から、週一回の土曜休校という話も聞こえておりますので、各PTAとして、今後、早急に、真剣に取り組みなければならぬと存じます。教育改革の第一歩は、自己の意識の改革、つまり、自分の家庭教育の見直し、自分達の地域の教育力の再検討、また真の学力とは何か、等から始めてはいかがでしょうか。「学習するPTA」が求められていると思えます。

本会の一層の伸展の為に皆様のご意見をおまちしております。

\* \* \*

## 輝く文部大臣・日本PTA 東北PTA会長表彰受賞 平成三年度

◎ 菊かおる平成三年十月十八日、ホテルニューオータニにおいて、日P主催の、平成三年度優良PTA及び功労者表彰式が盛大に挙行された。席上、文部大臣 日本PTA会長から、多年にわたりPTA活動に尽力した功績を讃え、表彰状・記念品が贈られた。

◎ 文部大臣表彰一  
八団体、日P会長表彰一四〇団体、個人二八一名

本県関係で栄に輝いた方々は、次の通りである。

◎ 団体表彰

喜多方市立第一小学校父母と教師の会  
白河市立白河中央中学校PTA

◎ 日本PTA会長表彰

原町市立石神第二小学校父母と教師の会

◎ 団体表彰

波多野広文 (前県連P副会長)  
佐藤 弓子 (前県連P理事)  
佐藤 老松 (前県連P理事)  
猪野 衛雄 (前事務局長)

◎ 個人表彰

五十嵐 謙吉 (前県連P理事)  
西澤 久仁男 (前県連P理事)  
安達 智 (前県連P理事)  
田中 隆 (前県連P理事)  
佐藤 老松 (前県連P理事)  
猪野 衛雄 (前事務局長)

◎ 東北PTA表彰

福島市立野田中学校父母と教師の会  
郡山市立東芳小学校PTA  
古殿町立竹貫田小学校PTA  
船引町立瀬川中学校父母と教師の会  
猪苗代町立猪苗代中学校父母と教師の会  
いわき市立錦東小学校PTA

◎ 個人

波多野広文 (前県連P副会長)  
佐藤 弓子 (前県連P理事)  
佐藤 老松 (前県連P理事)  
猪野 衛雄 (前事務局長)



平成三年九月七日、鶴岡市小真木原総合体育館において開催された東北PTA研究大会鶴岡大会開会式席上で行われ、感謝状・表彰状が贈られた。

本県関係で栄に浴された方々は、次の通りである。

◎ 東北PTA表彰

◎ 団体

福島市立野田中学校父母と教師の会  
郡山市立東芳小学校PTA  
古殿町立竹貫田小学校PTA  
船引町立瀬川中学校父母と教師の会  
猪苗代町立猪苗代中学校父母と教師の会  
いわき市立錦東小学校PTA

◎ 個人

五十嵐 謙吉 (前県連P理事)  
西澤 久仁男 (前県連P理事)  
安達 智 (前県連P理事)  
田中 隆 (前県連P理事)  
佐藤 老松 (前県連P理事)  
猪野 衛雄 (前事務局長)

# 《福島》 子どもの しあわせをねがって

## 福島市立大森小学校PTA

本校は福島市の南西部

に在り、吾妻小富士などが山肌をくっきり見せている。すぐそばに、伊達家の大森城跡もある。

自然に恵まれ、歴史もある街であるが、現代的工場ができ、日本各地を出身地とされる会員も多い。

会は、子ども達のしあわせを願い、一人ひとりの自覚と協力をもとに、共通理解にたつて諸活動



(交通事故絶無を願って  
自転車安全点検)

を推進している。

本部は、各委員会の連絡調整と共に、全員の協力を得て、冊子「おおも」を発行、研修旅行や

廃品回収を主催し、会員の親睦と見聞を高め、会の運営の健全化に努めている。因に今年度の研修旅行は、いわきの石炭化石館や白水阿弥陀堂めぐりである。

教養委員会は教育講演会や懇談会を主催している。前者では家庭における親子の在り方を考え、後者では、性教育について協議してきた。その難しさから、来年も是非やってほしいとの声があった。

広報委員会は、年二回の会報「あすなろ」とその間を埋める「PTAニュース」三回を発行し、会の運営や子ども達・会員の様子を伝えている。充実した内容が市教育委員会の先生の目にとまり市の教育懇談会への参加

を要請されたこともあった。

厚生委員会は会員の球技大会を主催し、バレー、ソフトなど会員のクラブ活動を応援し、バザーを主催している。

回収と共に資源の再利用と会の運営に貢献している。

施設委員会は奉仕作業や枯葉集めなどで、子ども達の学習環境の整備に努め、校外育成委員会は自転車点検、危険箇所点検とマップ作成、ストップマークを書き替えて、子ども達の生命にかかわる事業を推進している。方部委員会は夏休み中のプール当番の配当や廃品回収への協力など、会の運営を支えている。

後半、不十分だったが、信夫P当番校としての教育フォーラム、新春懇談会なども加え、会員の御協力に感謝している。

\*\*\*

## 特色あるPTA活動

### 《安達》

# 親と子と祖父母の ふれあいPTA活動

## 大玉村立大玉中学校PTA

本村は、交通の大動脈である国道四号、東北自動車道、東北本線が縦貫し表に阿武隈山麓、背中に安達太良山を望める、気候温暖で緑豊かな自然環境に恵まれた、面積七九・四六平方キロメートル、人口八、二〇〇人の村であり、そのほぼ中心部に本校があります。大山中学校と、玉ノ井中学校の二校が統合し昭和五十一年に現在の地に移り、今日に至っています。

近年急激な人口構造の高齢化・国際化・情報化の進展に見られますように住民のニーズもますます多様・多元化し、真の意味での質的向上を求めようになっています。

母の教育に対する関心は高く、協力的であり、その中核となるPTA活動は重視されています。生徒数四一七名（PTA会員数三七八名）、学級数十三の中規模校であり、会員の教養を高め、生徒の幸福な成長を図ることを重点目標として絶大な協力態勢を得ながら、成果を挙げてきました。

PTAの主たる活動の中で、近年高齢化社会が、



ささやかれるなか、学校文化祭の時に、ふだん学校とあまり縁の無い人生の先輩である、祖父母に対し、文化祭の発表等を見学し、孫の学校での生活を家庭に返ってから生徒と父母、そして祖父母とのコミュニケーションを図ってもらう目的で祖父母参観を実施している。この祖父母参観を有意義に実施するため、本部役員、教養委員会、厚生委員会、合同で昼食を準備し、その昼食時間を利用して、PTA役員と祖父母の懇談会を開催、祖父母から見た学校教育、PTA活動に対する率直な意見交換を行い大変好評を得ております。

又、整備委員会と一年委員会の合同で、生徒と父母と一緒に日曜日の朝五時三十分から、学校敷地の環境整備を学級単位で、年四回行っている。この作業を通じ、生活に忙しくコミュニケーションが空洞化している現在、親と子のふれあいを育み、生徒の健全育成に寄与するためのPTA活動を行っている。

\*\*\*



# 《耶麻》 子どもは主役で 父母は黒子で

## 喜多方市立第一小学校父母と教師会

本校は、ラーメンと蔵の街でおなじみの喜多方市の中央に位置し、東に雄国山、西北に飯豊連峰を仰ぎみる環境に恵まれた所であり、児童数は六九二名であります。

本校のPTAは、子供達の健全な育成を図ることを目的として、「子供を主役に、父母は黒子に徹すること」を合言葉にし側面から子供達を力強く支えて行こうとしてお

ります。また、「学校教育についての理解を深め、その成果が上がるよう協力すること」をめざして、父母と教師の連絡を密にし、互いに独断と偏見を排除して行こうと努力しております。

これらの点を踏まえて長年にわたり活動してきたところ、本会が平成三年度全国優良PTA文部大臣表彰を受賞しました。歴代のPTA会長をはじめ先輩の会員・現会員ともどもこの受賞を誇りとし、今後も努力を怠らないうよう決意を新たにしております。

学年事業として、親子で行うことが多く、キャンプ、磐梯山・大仏山への登山、魚市場の早朝見学、昔遊び、昔話を聞く会などが多く、出席率は常に九十%を越えております。

広報活動は一二二号となる「しきみ時報」を年四回、常任委員会だよりを月一回発行しております。

購入希望を明確にしてバザーを実施し、アスレチックやフェンスを造成しております。

さらに、一会員一事業制を目指し全会員が事業の立案から実行までのお手伝いができるよう努力

し、子供達の健全育成のための活動を意識的に実行しております。本年度の事業で大きなものを紹介しますと、会員の親睦と子供達の連帯感を深める伝統的行事のしきみ球技大会や親子スキー教室、両親学級とその日に行われるバザーや教育講演会があります。

本校は、ラーメンと蔵の街でおなじみの喜多方市の中央に位置し、東に雄国山、西北に飯豊連峰を仰ぎみる環境に恵まれた所であり、児童数は六九二名であります。



(猫魔スキー場  
250名参加の  
親子スキー教室)

活動は、各執行部(一)学年委員会(六)特別委員会(三)がそれぞれ自主的に事業に取り組み遂行していることが本PTAの大きな特色であります。

さらに、一会員一事業制を目指し全会員が事業の立案から実行までのお手伝いができるよう努力

し、子供達の健全育成のための活動を意識的に実行しております。

購入希望を明確にしてバザーを実施し、アスレチックやフェンスを造成しております。

さらに、一会員一事業制を目指し全会員が事業の立案から実行までのお手伝いができるよう努力

し、子供達の健全育成のための活動を意識的に実行しております。

さらに、一会員一事業制を目指し全会員が事業の立案から実行までのお手伝いができるよう努力

し、子供達の健全育成のための活動を意識的に実行しております。

## 特色あるPTA活動

# 《いわき》 汗と奉仕のPTA

## いわき市立四倉小学校PTA

本校はいわき市の北部に位置しており、太平洋に面した白砂青松の海岸線がすばらしい風光明媚な地域です。

当PTAは、昭和二十三年より発足し早や四十四年目を迎える事になりました。会員数も多いたときは千名を数えましたが、現在は生徒数の減少とあいまって五三三名となっております。

当PTAの組織は、常任委員会を筆頭に、総務、文化、厚生、環境、体育、校外補導、交通安全母の会、学年委員会が構成されております。

各委員会はそれぞれの事業計画に基づいて実施されていきますが、事業の一部を紹介いたしますと

総務委員会は視察研修会の実施。文化委員会は広報と教育講演会の実施。体育委員会は学年対抗による球技大会、綱引き大会の実施。校外補導委員会は子供による地区対抗球技大会の実施。環境整備委員会は子供達が安心して学べる為の環境づくり、厚生委員会は学校施設の充実を図る為のベルマークの収集。交通安全

四十三年の歴史の中では有為曲折が多々あったと思われませんが、その間文部省指定のむし歯予防モデル校にもなり、平成三年度には県より社会教育功績顕著な団体として受賞する事が出来ました。これも教職員、PTA諸先輩・地域の人々と会員が一致協力して各種事業に積極的に活動してきた結果と思えます。

最後に本校の教育目標は、「すすんで勉強する子」「おもいやりのある子」「からだをきたえる子」の三つであり、社会に役立つ人間形成を旨として努力している。



(PTA虫歯予防  
おやつ講習会)

願わくば、社会の変化に対応し正しく判断し清く正しくたくましく…。

母の会は校外における子供等の交通事故未然防止等があげられる。

又、全体事業としては二年に一回実施している執行部主催による御菓子づくり講習会と、会員の皆様の御協力によるバザーの開催がPTAとして大きな事業となっております。



(浜方部でのセミナー)

PTA活動のあり方や、母親としての役割等について研究を深め、PTA母親リーダーとしての資質の向上を目指す「第十二回県PTA母親リーダーセミナー」が今年度も十月から十一月にかけて県四方部で開催された。

△県北方部▽  
すばらしき女性達

吉井田小学校PTA副会長 渡辺八重子

「私、人前で話したり書いたり苦手できないわ。」 そんな事を言っていたお母さん達、いざ討議が始まったらさちんとお話し、書記に選ばれた方は、きれいな字を披露してくれましたセミナーの風景の一コマです。

「私、人前で話したり書いたり苦手できないわ。」 そんな事を言っていたお母さん達、いざ討議が始まったらさちんとお話し、書記に選ばれた方は、きれいな字を披露してくれましたセミナーの風景の一コマです。

普通であればテレ臭くできないレクリエーションでの合唱やゲームも十年前に戻ったようです。楽しくできました。いくつになっても学ぶというのは心地良い何かを残し

母親セミナーに参加して

△浜方部▽

子どもの自覚と親の責任

内郷第一中学校PTA 国井千代子

八年前に大野で開催された時に会場を尋ねながら参加したことが昨日の様に思い出されました。いわきから十六名が参加しましたが、いわきは広域なので顔見知りの方もなく心細くなりました。疲れと緊張をほぐすために三部合唱をし研修に入りました。模擬テーマとして「何度言っても起き

るのが遅くて遅刻が多く困っている。」、六六討議で話し合いました。私の班は中高大生の子を持つ集まりで結論としては子供に自覚を持たせるのが大切なのではないかと、やはり子育ての時点で親の責任が大であると私は感じました。

司会を仰せ付かったのですが話しが脱線したりも、そんな役が当たってもそれを消化することの思、積極的に会合等に

「バズセッション」に取組んだ私達は、講師の渡辺憲一先生の御指導のもと、初めに全体会で話し合いのテーマを決め、グループでの話し合いに入りました。全体の司会者は、グループ内での話し合いをまとめて、全体会で意見交換をして話し合いを煮詰めていくというやり方でしたが、何分聞き慣れない言葉に私達

は、次第に話し合いにも熱が入り有意義な時を過ごすことが出来ました。今までも何気なく進めて来た会議も、ひとつの形の中で順序よく進めて行けば、無駄な時間もなくなり、スムーズに進められるという事、又参加者全員に多くの意見を求められることがわかり、これからの活動に多いに役立てたいと思えました。

△県南方部▽

子を思う親の気持ちは一つ

鏡石中学校PTA副会長 石淵津喜子

てくれるようです。ただ話すのではなく、目的意識を持つての話し合い、ポイントのつかみ方、きつとそれぞれの団体に帰ったら役立つことでしょうか。

△会津方部▽

「バズセッション」から得たもの

熊倉小学校PTA 折笠 良子

普段、私達が何気なく進めている会議の持ち方の方法を理解し、PTA活動の活性化を図ろうというところからの勉強会。ひとつの方法として、「バズセッション」に取組んだ私達は、講師の渡辺憲一先生の御指導のもと、初めに全体会で話し合いのテーマを決め、グループでの話し合いに入りました。全体の司会者は、グループ内での話し合いをまとめて、全体会で意見交換をして話し合いを煮詰めていくというやり方でしたが、何分聞き慣れない言葉に私達

を迎え「PTAでの会議の持ち方」についての講義を受け、演習をし、レク指導があり、研修のまとめと内容の濃い充実した一日となりました。知らない方ばかりでしたが子供の話になると、みなさん活発に、悩み、心配ごとを話され、以前からの知り合いのように話が

はずみました。会議の進め方、子育てについて沢山の学びました。私も三人の子の母親ですが今回末っ子の親としての参加でした。長男の時に参加できていたら、もっと良かったのにも思いますが残り少ないPTA活動に今回学んだことを生かし全力を注ぐつもりです。

福大附小 四年 渡部 喬光

元氣

蓬萊東小 三年 松井 暢彦

用心

綴小 一年 さなだやすよし

ゆめ

小浜小 一年 わたなべより

にじ

習字 最優秀 作品

第15回

子どもの災害事故防止 習字 輝く入賞者決まる

第十五回子どもの災害事故防止習字・ポスター展の審査は二月七日と七日に福島県青少年会館で行われ、習字二九六点、ポスター五四点の入賞が決まった。今年、習字一六〇校から二九二〇点、ポスター一は六六校から五三五点の応募があった。習字の審査は、

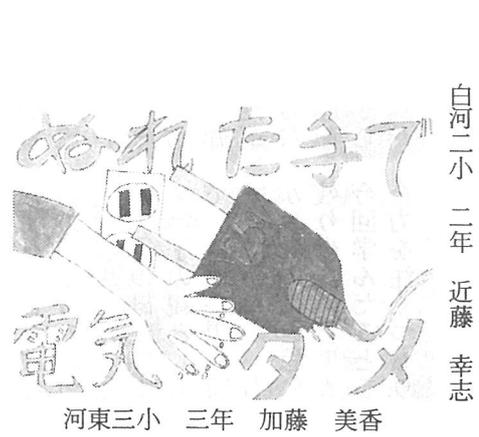
蓬萊東小学校教諭本間貞二氏、福島大学附属小学校講師桑原兵永氏、元野田小学校教諭小田雄氏が、ポスターは、元福島第四中学校長力丸毅氏が一点一点慎重に審査した。各学年五つの学校代表作品のため子どもらしい力作がそろい、生き生きとした力強い作品が多かった。

ポスター

【小学校の部】

- 最優秀賞 あべみゆき(一箕小一年) 近藤 幸志(白河一小一年) 加藤 美香(河東三小二年) 木俣 美咲(明和小四年) 渡部 慶一(一箕小五年) 四家 章子(豊間小六年)
優良賞 眞壁 甲英(柏城小一年) 船岡 亮佑(鏡石一小一年) 建多那津恵(社川小三年) 渡辺沙耶香(塩川小四年) 小林 愛(坂下小四年) 若林 里美(明和小四年) 高橋 寛典(一箕小五年) 野地 友美(蓬萊東小五年) 大広 将之(蓬萊東小五年) 萩沼 浩子(豊間小六年) 小沢 健一(刈野小六年) 伊藤 篤(多田野小六年)
佳作 洪佐 絵里(草野小桐一年) たかはしまゆみ(一箕小一年) 大須賀康伸(鏡石一小一年) 築田 綾(大塩小二年) 矢部 和美(奥川小二年) 庄司 誠(夏井小二年)
迎 久美子(山白石小二年) 矢田部陽子(社川小三年) 湯田 幸知(荒海小三年) 酒井 暢子(二本松北小三年) 鷲沼 由佳(鏡石一小二年) 大越 香苗(桑野小四年) 鈴木 理恵(翁島小四年) 空間 三和(千里小四年) 山内 忍(明和小四年) 柳 明仁(鏡石一小四年) 角田 歩(明和小五年) 高橋 美輝(明和小五年) 生駒 佑子(福浦小五年) 斎藤 忠信(蓬萊東小五年) 丹治美由紀(蓬萊東小五年) 菊地 利江(豊間小六年) 佐藤 文彦(柏城小六年) 山田 裕子(二本松北小六年) 岡田 千春(鹿島小桐六年) 山内 鹿子(大浦小六年)

ポスター最優秀作品



河東三小 三年 加藤 美香

白河二小 二年 近藤 幸志

一箕小 一年 あべみゆき

- 【中学校の部】
最優秀賞 高橋 弓恵(若松一中一年)
優良賞 菊地 美樹(若松一中二年)
佳作 高田 綾(若松一中一年)
猪俣 智(若松一中一年)

# 安全

【入会】大谷賢一朗

平六小 五年 大谷賢一朗

# 健康

【入会】東山 宮沢厚志

東山小 六年 宮沢 厚志

# 発展

桃陵中

冠本直子

桃陵中 一年 冠本 直子

# 躍進

本多宏江

平野中 一年 本多 宏江

# 躍進

【入会】泉北中 村上崇広

泉北中 三年 村上 崇広

## 習字

### 【小学校の部】

#### ◇最優秀賞

わたなべりよ(小浜小一年)

さなだやすし(綴小一年)

松井 暢彦(蓬萊東小三年)

渡部 喬光(福大附小四年)

大谷賢一朗(平六小五年)

宮沢 厚志(東山小六年)

#### ◇優秀賞

たかむらちさと(福大附小一年)

すずき 歩(一箕小一年)

わたなべしおり(郷ヶ丘小一年)

かまくらまさのり(福大附小一年)

佐藤 崇史(五百川小一年)

大谷 智宏(平六小二年)

薄井 智幸(福大附小三年)

渡辺麻美子(小浜小三年)

鈴木 夏美(一箕小三年)

小林 未来(綴小三年)

佐藤加奈子(郷ヶ丘小三年)

伊藤 剛(蓬萊東小四年)

石井 郁子(須賀川小四年)

箭内絵里子(船引小四年)

荒井 康之(坂下小四年)

佐藤 千草(中央台北小四年)

鈴木 芳樹(福大附小五年)

渡辺 貴子(護教小五年)

目黒 絵理(南郷一小五年)

印南 春樹(明和小五年)

小島 聖子(綴小五年)

猪俣光太郎(蓬萊東小六年)

曾根志保美(鏡石一小六年)

小川 浩美(綴小六年)

鈴木めぐみ(郷ヶ丘小六年)

鈴木 美希(大浦小六年)

#### ◇優良賞

さいとつりさ(塩沢小一年)

はしもとまなぶ(大平小一年)

すずきひろあき(白河一小一年)

ほしたくみ(南郷一小一年)

わかさあきひろ(須賀川一小二年)

だいらくなつこ(竹貫田小二年)

吉田 篤子(白河一小二年)

すずきりゅうた(宮小二年)

菅野 薫秀(清明小三年)

山岸 俊介(福大附小三年)

高橋 励(須賀川一小三年)

井野元玲子(須賀川二小三年)

根本 剛(竹貫田小三年)

荒井 麻希(白河一小三年)

安藤 勇(綴小三年)

木元 陽子(須賀川二小四年)

関根 政人(天森小四年)

遠藤 学武(竹貫田小四年)

大越 美和(白河二小四年)

佐藤 弘幸(宮小四年)

中野 伸一(綴小四年)

草野 裕子(蓬萊東小五年)

永井 裕子(東山小五年)

東海林麻希(船引小五年)

高木久美子(一箕小五年)

酒井亜紀子(坂下小五年)

片桐 美樹(勝常小五年)

桜本 太志(金房小五年)

古井 佐織(清明小六年)

佐藤 直子(松川小六年)

海野多恵子(福大附小六年)

笹川 清恵(美郷小六年)

佐久間文美(一箕小六年)

八矢あゆみ(湯本一小六年)

鷺谷 綾子(郷ヶ丘小六年)

### 【中学校の部】

#### ◇最優秀賞

冠本 直子(桃陵中一年)

本多 宏江(平野中一年)

村上 崇広(泉北中二年)

#### ◇優秀賞

坂路 妙子(須賀川一中一年)

小林由香理(白河中央中一年)

平井 純子(釧芳中二年)

#### ◇優良賞

阿部 悠生(鏡石中一年)

鈴木 麻水(若松二中一年)

三瓶 雅子(富岡二中三年)

#### ◇佳作

永沼 佳子(石川中一年)

鈴木 智子(金堂妻中編一年)

大森 敬士(白河中央中一年)

白石 啓介(小野中一年)

白井 公貴(若松五中一年)

和田 育子(若松三中一年)

武藤奈緒子(北会津中一年)

真部 麻美(山都中一年)

坂和 智美(富岡一中一年)

菅野めぐみ(富岡一中一年)

根本 利栄(広野中一年)

高橋 絵理(金堂妻中編一年)

千葉 吉記(白館中一年)

海老名里美(鏡石中一年)

石井 綾子(富岡中一年)

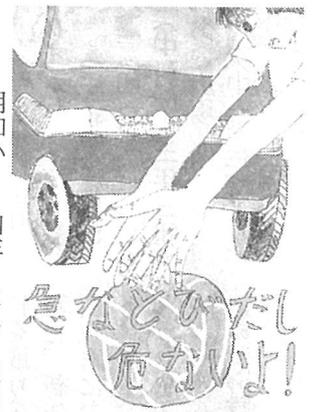
山内 美奈(若松五中一年)

渡辺 純子(昭和二中一年)

内山 重和(白河中央中二年)

山口 恵美(北会津中三年)

佐藤 寛子(白河中央中三年)



明和小 四年 木俣 美咲



一箕小 五年 渡部 慶一



豊間小 六年 四家 章子



若松二中 二年 高橋 弓恵

福島県PTA安全互助会加入状況と事故件数

(H. 4. 1. 31 現在)

Table with columns for Region (区分), School Type (小・中学校別), and Accident Statistics (傷害事故件数). Rows list various regions like Fukushima, Sendai, etc., with sub-columns for enrollment numbers and rates.

( )は幼稚園数

( )は学童の死亡事故件数

○は養護学校(福島・相馬)・分校(石川・いわき)

県PTA安全互助会だより

窓を破損。

この制度はA12・B

12コースに付加されて

いる。平成四年度も、児童生

徒、PTA・PTA会員

が安心して活動できるよ

う、ぜひ、継続また、新

規にご加入いただきたい

加入申込みは五月二十

日まで加入手続きをすま

せると、同年四月一日に

さかのぼり補償適用とな

るので、早めに申込みを

お願いしたい。

例三 下校途中、小学生

が上級生にからかわれ

て喧嘩になり、投げた

小石が店のガラス窓を

破損。

例四 放課後、小学生数

人が校庭でサッカーボ

ール中、駐車場にとめ

てあった自動車のフェ

ンダーミラーを破損。

例五 小学生が店の駐車

場で遊び中、ブロック

べいにむかって投げた

ビー玉が隣家のガラス

県小中学校新聞コンクール

入賞校決定!

このコンクールは、福

島民友新聞社、県PTA

連合会が主催し、県教委、

県小学校長会、県中学校

長会の後援のもとに、P

TA会報、学校新聞など

のレベルアップを目的に

開かれているものである。

応募作品は、昨年一月

から十一月までに発行さ

れたものです。今回はP

TA会報、学校新聞合わ

せて九十三校から約四百

点の新聞が寄せられ、審

査の結果二十三点の入賞

が決定した。

入賞した二十三校には

賞状と盾が贈られ、また

PTA会報の部の最優秀

作品は「全国小・中学校

PTA広報紙コンクール」

に出品されることになっ

ている。

▼PTA会報の部

○最優秀(二点)

ささや(笹谷小PTA)

こだま(保原小PTA)

(五点)

わかたけ

(金谷川小PTA)

しゃくなげ

(岳陽中PTA)

おやまだ

(小山田小PTA)

○入選(十点)

こまよせ

(下川崎小PTA)

鳥和の森

(鳥川小PTA)

けやき(森合小PTA)

はぐるま(桃陵中PTA)

さくらぎ

(郡山五中PTA)

ごんげん山

(南山形小PTA)

まとい(表郷小PTA)

かわかぜ

(城西小PTA)

城北時報

(城北中PTA)

二つ箭(小川小PTA)

▼学校新聞の部

○最優秀(一点)

希望(松陽中第一学年)

○優秀(二点)

双小だより

(双潟小だより)

須中タイムス

(須釜中生徒会)

○入選(四点)

湯川(若松三中生徒会) 一つの朝 (坂下二中三年四組)



(審査風景)

平成四年度 行事予定

六月三日

・日P群馬大会(前橋)

八月二〇日・二一日

・東北P・県P福島大会

九月四日・五日

編集後記

▼週五日制の導入、生活科を取り入れた新しい教育と、新年度は二十一世紀教育に向けてのスタート。▼子ども達の幸せを願うPTAとして、何をやるべきかこんな思いを込めて33号をお届けします。